

授業計画(シラバス)

科目名	実践行動学Ⅰ（就職実務含む）		指導担当者名	佐々木 美代子	
実務経験				実務経験:	無
開講時期	通年		対象学科学年	ファッション学科 1年	
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:	
時間数(通年)	通年30時間		週時間数	1時間	
学習到達目標	就職活動を始める前の準備。				
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・活動状況など。				
使用教材	SUCCESS				
授業外学習の方法	この授業を受けて将来自分のなりたい姿を常に考える事。				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授業計画 前期	1	オリエンテーション	講師紹介 1-1 これからどう生きるのか(宿題として視聴)		
	2	就職活動の心構え身だしなみ	1-1宿題振り返り 1-2 一生でどのくらい稼げるのか		
	3	就職活動での身だしなみ	5-1~5-1(実践編) 身だしなみ		
	4	就職活動の流れ	学校でのルールと大学生、高校生、専門学校生の違い		
	5	職業を知る	圧迫面接		
	6	情報収集、企業研究、資料請求1	2-2(実践編) 業界マップの理解		
	7	情報収集、企業研究、資料請求2	2-3 業界ごとに必要な仕事内容を理解する		
	8	情報収集、企業研究、資料請求3	2-3(実践編) 業界ごとに必要な仕事内容を理解する		
	9	自分自身を知る 自分史作成 1	1 3-4~3-6-2 ・3-4自己PRのネタを探す		
	10	自分自身を知る 自分史作成 2	3-4~3-6-2 ・3-4-1自己PRのネタを探す(経験)		
	11	自分自身を知る 自分史作成 3	3-4~3-6-2 ・3-4-2自己PRのネタを探す(特性)		
	12	自分自身を知る 自分史作成 4	3-4~3-6-2 ・3-5自己PRの骨格を作る		
	13	自分自身を知る 自分史作成 5	3-4~3-6-2 ・3-5自己PRの骨格を作る(実践編)		
	14	志望動機の作り方 1	3-7 業界、会社にあった動機作り		
	15	志望動機の作り方 2	3-7(実践編) 業界、会社にあった動機作り		
	16	自己PRの作り方 1	3-7 業界、会社にあった自己PR 作り		
	17	自己PRの作り方 2	3-7 業界、会社にあった自己PR 作り		
	18	自己PRの作り方 3	3-7 業界、会社にあった自己PR 作り		
	19	中間テスト			
	20	履歴書作成	まとめ		
履修上の留意点					
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。					

授業計画(シラバス)

科目名	実践行動学Ⅰ（就職実務含む）		指導担当者名	佐々木 美代子	
実務経験				実務経験:	無
開講時期	通年		対象学科学年	ファッション学科 1年	
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:	
時間数(通年)	通年30時間		週時間数	1時間	
学習到達目標	就職活動を始める前の準備。				
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・活動状況など。				
使用教材	SUCCESS				
授業外学習 の方法	この授業を受けて将来自分のなりたい姿を常に考える事。				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授業計画 後期	1	志望動機の作り方 1	3-7 業界、会社にあった動機作り		
	2	志望動機の作り方 2	3-7(実践編) 業界、会社にあった動機作り		
	3	作成書類 1	3-8・3-8(実践編)、加えて3-1～3-3(実践編)、3-6～3-6-2まで 履歴書、エントリーシート、添え状など 各種書類を書けるように、また、封筒の書き方、その他の書類（事務局的書類の手続き）、ポートフォリオなど *履歴書の完成		
	4	作成書類 2			
	5	作成書類 3			
	6	企業訪問	5-1～5-2 準備、当日、事後の指導		
	7	就職試験のマナー 1	5-2～5-3(実践編) 入退室		
	8	職試験のマナー 2	5-2～5-3(実践編) 面接試験対策1		
	9	職試験のマナー 4	5-2～5-3(実践編) 面接試験対策2		
	10	筆記試験対策 1	5-5(実践編) 筆記試験について、種類や方法を知る		
	11	筆記試験対策 2	特に小論文の書き方(内容は自己PRや志望動機をまとめる内容がよい)		
	12	筆記試験対策 3	特に小論文の書き方(内容は自己PRや志望動機をまとめる内容がよい)		
	13	企業研究 1	求人票の見方・自分の希望する企業を調査		
	14	企業研究 2	求人票の見方・自分の希望する企業を調査		
	15	企業研究 3	求人票の見方・自分の希望する企業を調査		
	16	履歴書・面接試験	履歴書、入退室の確認は必須		
	17	履歴書・面接試験	履歴書、入退室の確認は必須		
	18				
	19				
	20				
履修上の留意点					
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。					

授業計画(シラバス)

科目名	ファッションビジネス論Ⅰ		指導担当者名		遠藤 建一	
実務経験	アパレルメーカー 実務経験 7年				実務経験:	有
開講時期	通年		対象学科学年		ファッション学科 1年	
授業方法	講義: ○		演習:		実習: 実技:	
時間数(通年)	通年60時間		週時間数		2時間	
学習到達目標	・ファッションビジネス業界へ就職し、自らが希望する職種で活躍する際に必要な知識・技術を習得させる。 ・デザイン/マーケティング情報を駆使し、商品企画から商品生産、流通、販売促進などの専門知識と技術の習得。 ・企画・創造力・洞察力等・総合的な能力を向上させる。 ・ファッションビジネス検定取得を目指す。					
評価方法 評価基準	・出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。					
使用教材	テキスト 一般社団法人 日本ファッション教育振興協会 発行「ファッションビジネス[Ⅰ]」、授業時間内の資料配布					
授業外学習 の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおく。授業内で行う例題(問題)の復習。					
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等			
授業計画 前期	1	第1章 ファッションビジネスの概要	テキスト準備 1.ファッション、デザインの定義と特性			
	2	第1章 ファッションビジネスの概要	テキスト準備 2.衣服とアパレルデザインの基礎知識、3.繊維とアパレル基礎知識			
	3	繊維ファッション産業の流れ	テキスト準備 繊維ファッション産業の流れ 等			
	4	繊維について	県内特有の繊維(川俣シルク)とは			
	5	課外授業	繊維工場の見学 / 織物体験(川俣シルク) / レポート作成・提出			
	6	第1章 例題(練習問題)	テキスト準備 練習問題の実施 / 解答・解説			
	7	第2章 ファッション消費と消費者行動	テキスト準備 消費者行動とファッション表現 等			
	8	ライフスタイルとファッション	テキスト準備 ライフスタイルとは 等			
	9	お客様の購買行動	テキスト準備 お客様・顧客 / 購買行動 等			
	10	第2章 例題(練習問題)	テキスト準備 練習問題の実施 / 解答・解説			
	11	第3章 アパレル産業と小売産業	テキスト準備 アパレル産業の概要 等			
	12	ファッション小売産業の概要	テキスト準備 小売企業とは / 百貨店 / 量販店 / 専門店 等			
	13	前試験範囲の復習 / 前期試験	テキスト / 試験問題 準備			
	14	試験フィードバック/第3章 例題(練習問題)	テキスト準備 練習問題の実施 / 解答・解説			
	15	前期中間試験	テキスト / 試験問題 準備			
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
履修上の留意点						
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。						

授業計画(シラバス)

科目名	ファッションビジネス論Ⅰ		指導担当者名		遠藤 建一	
実務経験	アパレルメーカー 実務経験 7年				実務経験:	有
開講時期	通年		対象学科学年		ファッション学科 1年	
授業方法	講義: ○	演習:		実習:		実技:
時間数(通年)	通年60時間		週時間数		2時間	
学習到達目標	・ファッションビジネス業界へ就職し、自らが希望する職種で活躍する際に必要な知識・技術を習得させる。 ・デザイン/マーケティング情報を駆使し、商品企画から商品生産、流通、販売促進などの専門知識と技術の習得。 ・企画・創造力・洞察力等・総合的な能力を向上させる。 ・ファッションビジネス検定取得を目指す。					
評価方法 評価基準	・出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。					
使用教材	テキスト 一般財団法人 日本ファッション教育振興協会 発行「ファッションビジネス[Ⅰ]」、授業時間内の資料配布					
授業外学習 の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおく。授業内で行う例題(問題)の復習。					
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等			
授業計画 後期	1	第1章 ファッションビジネスの概要	テキスト準備 1.ファッション、デザインの定義と特性			
	2	第1章 ファッションビジネスの概要	テキスト準備 2.衣服とアパレルデザインの基礎知識、3.繊維とアパレル基礎知識			
	3	第2章 ファッションコーディネート	テキスト準備 1.コーディネートの基礎知識、2.ファッションスタイリング			
	4	第2章 ファッションコーディネート	テキスト準備 3.ビジネスにおけるスタイリング提案、4.ディスプレイ知識			
	5	第3章 ファッション商品知識	テキスト準備 1.アパレルアイテムの知識			
	6	第3章 ファッション商品知識	テキスト準備 2.シルエットの知識、3.ディテールの知識			
	7	第3章 ファッション商品知識	テキスト準備 4.品質・品質表示の知識、5.サイズの知識			
	8	第3章 ファッション商品知識	テキスト準備 6.繊維・糸の知識、7.織物の知識			
	9	第3章 ファッション商品知識	テキスト準備 8.染色の知識、9.ニットの知識			
	10	第4章 ファッションデザイン	テキスト準備 1.デザイン画と製品図の理解、2.デザインと機能			
	11	第4章 ファッションデザイン	テキスト準備 3.色彩基礎知識、4.柄の知識			
	12	第5章 ファッション・エンジニアリング	テキスト準備 1.服飾造形に関する基礎知識			
	13	第5章 ファッション・エンジニアリング	テキスト準備 2.パターンに関する基礎知識、3.アパレル製造の基礎知識			
	14	後期試験	テキスト / 試験問題 準備			
	15	過去問対策	テキスト / 試験問題 準備			
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
履修上の留意点						
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。						

授業計画(シラバス)

科目名	パーソナルカラー		指導担当者名	小池 久子	
実務経験	カラーコーディネート実務経験14年			実務経験:	有
開講時期	後期		対象学科学年	ファッション学科 1年	
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:	
時間数(通年)	後期45時間		週時間数	3時間	
学習到達目標	パーソナルカラー検定モジュール1の習得。 ファッション業界において通用するカラーの知識を身に付ける。				
評価方法 評価基準	授業態度・課題・テスト				
使用教材	はじめてのパーソナルカラー パーソナルカラー配色カード モジュール1配色ワークブック 新配色カード199a				
授業外学習 の方法	テキストの範囲を読んでおく。				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授業計画 後期	1	第1章式の自然を表す色 日本の色の歴史赤系、橙系	ガイダンス「授業概要と進め方、評価方法について」テキスト解説、課題プリント、ミニテスト		
	2	第1章色と生活 色の種類 赤系統	テキスト解説、課題プリント、ミニテスト		
	3	第1章色の種類橙系統 第2章色の仕組みⅠ 光について	テキスト解説、課題プリント、ミニテスト		
	4	第1章色の種類 黄系統 第2章色の仕組みⅡ 光源、目の構造	テキスト解説、課題プリント、ミニテスト		
	5	第1章日本の色の歴史 身分、禁色、襲の色目 日本の色の歴史 黄系、緑系	テキスト解説、課題プリント、ミニテスト		
	6	第1章わび・さび 江戸時代の色彩文化 日本の色の歴史青系、紫系	テキスト解説、課題プリント、ミニテスト		
	7	ファッション概論、プライダル色彩	テキスト解説、課題プリント、ミニテスト		
	8	肌、皮膚、髪 色と種類	テキスト解説、課題プリント、ミニテスト		
	9	第1章色の種類 青系統 第2章CUS色調	テキスト解説、課題プリント、ミニテスト		
	10	第1章色の種類緑系統 第2章色の三属性 CUS色相	テキスト解説、課題プリント、ミニテスト		
	11	パーソナルカラーの特徴 色の種類(グレー)	テキスト解説、課題プリント、ミニテスト		
	12	パーソナルカラー診断 色彩演習	テキスト解説、課題プリント、ミニテスト		
	13	色彩心理・色彩アートセラピー	色彩演習		
	14	色彩心理・色彩アートセラピー	色彩演習		
	15	色彩心理・色彩アートセラピー	色彩演習		
	16	色彩心理・色彩アートセラピー	色彩演習		
	17	色彩心理・色彩アートセラピー	色彩演習		
	18	後期テスト			
	19	復習			
	20				
履修上の留意点					
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。					

授業計画(シラバス)

科目名	アパレルマーケティングⅠ		指導担当者名	笹原 和加子	
実務経験	パターンナー 実務経験 22年			実務経験:	有
開講時期	通年		対象学科学年	ファッション学科 1年	
授業方法	講義:	演習:◎	実習:○	実技:	
時間数(通年)	通年90時間		週時間数	3時間	
学習到達目標	・被服に関する総合的な知識と製作技術を習得する(ソーイングベーシック・パターンベーシック)。 ・創造力と美的感性の開発を目指す。 ・服飾造形の基礎知識から、それぞれの基本的な服種(アイテム)の「服作り」を通して、服飾全般の知識と応用を学ぶ。				
評価方法 評価基準	・出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。				
使用教材	テキスト 学校法人文化学園 文化出版局 発行『服飾造形講座「服飾造形の基礎」』 テキスト 学校法人 文化学園 文化出版局 発行『服飾造形講座「ブラウス・ワンピース」』				
授業外学習の方法	・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。・授業内で行うパターンの作図や製作方法の復習。				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授業計画 前期	1	第1章 服飾造形の概要	衣服と服飾造形、衣服の分類、衣服政策のプロセス		
	2	第2章 服飾造形の概要	衣服製作のための用具		
	3	第3章 衣服製作のための人体と計測	衣服製作のための人体について		
	4	第3章 衣服製作のための人体と計測	衣服製作のための人体計測		
	5	第4章 パターン製作の基礎	平面作図と立体裁断について、原型について		
	6	第4章 パターン製作の基礎	平面作図の基礎		
	7	第4章 パターン製作の基礎	体型と原型		
	8	第4章 パターン製作の基礎	パターン操作法		
	9	第5章 衣服素材と付属材料	衣服素材とデザイン、付属材料		
	10	第6章 裁断縫製の基礎	使用量の見積もり方、地づめ、地直し、生地を表裏の見分け方		
	11	第6章 裁断縫製の基礎	裁断、印付け		
	12	第6章 裁断縫製の基礎	布地に合わせた糸、針の選び方		
	13	第6章 裁断縫製の基礎	基本縫い・手縫い		
	14	第6章 裁断縫製の基礎	基本縫い・手縫い		
	15	第6章 裁断縫製の基礎	基本縫い・手縫い		
	16	第6章 裁断縫製の基礎	基本縫い・手縫い		
	17	第6章 裁断縫製の基礎	基本縫い・手縫い		
	18	第6章 裁断縫製の基礎	ミシン縫いの基本		
	19	第6章 裁断縫製の基礎	ミシン縫いの基本		
	20				
履修上の留意点					
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。					

授業計画(シラバス)

科目名	アパレルマーケティングⅠ		指導担当者名	笹原 和加子	
実務経験	パターンナー 実務経験 22年			実務経験:	有
開講時期	通年		対象学科学年	ファッション学科 1年	
授業方法	講義:	演習:◎	実習:○	実技:	
時間数(通年)	通年90時間		週時間数	3時間	
学習到達目標	・被服に関する総合的な知識と製作技術を習得する。 ・創造力と美的感性の開発を目指す。 ・服飾造形の基礎知識から、それぞれの基本的な服種(アイテム)の「服作り」を通して、服飾全般の知識と応用を学ぶ。				
評価方法 評価基準	・出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。				
使用教材	テキスト 学校法人 文化学園 文化出版局 発行『服飾造形講座「ブラウス・ワンピース」』				
授業外学習 の方法	・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。・授業内で行うパターンの作図や製作方法の復習。				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授業計画 後期	1	第1章 ブラウス	ブラウスについて、ブラウスの名称、デザインと作図		
	2	第1章 ブラウス	仮縫い方法と試着補正法		
	3	第1章 ブラウス	縫製法		
	4	第1章 ブラウス	部分縫い・前立て		
	5	第1章 ブラウス	部分縫い・タック		
	6	第1章 ブラウス	部分縫い・シャーリング		
	7	第1章 ブラウス	部分縫い・スリット		
	8	オリジナル制作	縫製確認		
	9	オリジナル制作	縫製確認		
	10	オリジナル制作	縫製確認		
	11	オリジナル制作	縫製確認		
	12	オリジナル制作	縫製確認		
	13	オリジナル制作	縫製確認		
	14	オリジナル制作	縫製確認		
	15	提出	提出確認		
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
履修上の留意点					
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。					

授業計画(シラバス)

科目名	ファッションコーディネートⅠ		指導担当者名		市川 美佳	
実務経験	デザイン会社制作業務 実務経験10年				実務経験:	有
開講時期	前期		対象学科学年		ファッション学科 1年	
授業方法	講義:	演習:○		実習:	実技:	
時間数(通年)	前期45時間		週時間数	3時間		
学習到達目標	・戦後から今日まで様々に変化したファッションの歴史、ファッション・コーディネートの種類、ファッション・ビジネス、商品知識や企画の立て方など、スタイリストとしての基本的な知識、専門技術を理解させる。					
評価方法 評価基準	・出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。					
使用教材	テキスト 学校法人 文化学園 文化出版局 発行「スタイリスト&コーディネーターの条件」					
授業外学習の方法	・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。					
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等			
授業計画 前期	1	第1章 これから必要とされるスタイリスト、コーディネーター	テキスト準備	ファッション概論 / ファッションとは 等		
	2	第1章 これから必要とされるスタイリスト、コーディネーター	テキスト準備	スタイリストとは / スタイリストの仕事の種類と分類 等		
	3	第1章 これから必要とされるスタイリスト、コーディネーター	テキスト準備	スタイリストの仕事 等		
	4	第1章 これから必要とされるスタイリスト、コーディネーター	テキスト準備	ウェディングプランナーとスタイリスト 等		
	5	第1章 これから必要とされるスタイリスト、コーディネーター	テキスト準備	ヘアメイクアップアーティスト 等		
	6	第1章 これから必要とされるスタイリスト、コーディネーター	テキスト準備	インテリアコーディネーター / カラリスト 等		
	7	第2章 色の知識と基本的な技術	テキスト準備	色の体系 / 色彩 / 色の効果 / 流行色とファッション情報 等		
	8	第3章 戦後ファッション概観	テキスト準備	着物文化から洋服文化へ 等		
	9	第3章 戦後ファッション概観	テキスト準備	経済高度成長期 マスプロ、マスセル 等		
	10	第3章 戦後ファッション概観	テキスト準備	経済低成長期 スタイリストの誕生(量から質へ)		
	11	第3章 戦後ファッション概観	テキスト準備	バブル経済 DCブランド～インポートブランド		
	12	第3章 戦後ファッション概観	テキスト準備	ラグジュアリーブランドの発展		
	13	第3章 戦後ファッション概観	テキスト準備	国際的な不況の時代 ファストファッション アジアの時代		
	14	中間テスト	テスト問題準備			
	15	中間テストフィードバック	テスト問題準備			
	16	第4章 ファッションコーディネート技術の必要性	テキスト準備	ファッションコーディネートの基本原理 等		
	17	第4章 ファッションコーディネート技術の必要性	テキスト準備	素材の組み合わせによるコーディネート 等		
	18	第4章 ファッションコーディネート技術の必要性	テキスト準備	イメージの組合せによるコーディネート		
	19	第4章 ファッションコーディネート技術の必要性	テキスト準備	ライフスタイルによるコーディネート		
	20					
履修上の留意点						
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。						

授業計画(シラバス)

科目名	アイテムソーイングⅠ		指導担当者名		笹原 和加子	
実務経験	パターンナー 実務経験 22年				実務経験:	有
開講時期	通年		対象学科学年		ファッション学科 1年	
授業方法	講義:	演習:◎		実習:○		実技:
時間数(通年)	通年90時間		週時間数	3時間		
学習到達目標	・被服に関する総合的な知識と製作技術を習得する(ソーイングベーシック・パターンベーシック)。 ・創造力と美的感性の開発を目指す。 ・服飾造形の基礎知識から、それぞれの基本的な服種(アイテム)の「服作り」を通して、服飾全般の知識と応用を学ぶ。					
評価方法 評価基準	・出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。					
使用教材	テキスト 学校法人 文化学園 文化出版局 発行『服飾造形の基礎「スカート・パンツ」』					
授業外学習 の方法	・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。・授業内で行うパターンの作図や製作方法の復習。					
学期	ターム	項 目		内容・準備資料等		
授業計画 前期	1	オリエンテーション		テキスト準備 授業の進め方、評価方法		
	2	スカートについて		テキスト準備 スカートとは 等		
	3	スカートの名称・デザイン・素材		テキスト準備 形態による名称と素材 等		
	4	スカートの機能性 /スカートの作図		テキスト準備 動作による寸法の変化 等		
	5	デザイン展開と作図・パターン展開		テキスト準備 基本パターンからのシルエット展開 等		
	6	デザイン展開と作図・パターン展開		テキスト準備 (オリジナル作成)		
	7	デザイン展開と作図・パターン展開		テキスト準備 (オリジナル作成)		
	8	デザイン展開と作図・パターン展開		テキスト準備 (オリジナル作成)		
	9	スカート制作・1/4パターン		テキスト準備 スカートの基礎知識の習得		
	10	スカート制作・1/4パターン		テキスト準備 スカートの基礎知識の習得		
	11	スカート制作・実寸パターン		テキスト準備 部分縫い		
	12	スカート制作		テキスト準備 部分縫い		
	13	スカート制作		中間試験提出確認		
	14	スカート制作		テキスト準備 スカートの基礎知識の習得		
	15	スカート制作		テキスト準備 スカートの基礎知識の習得		
	16	スカート制作		テキスト準備 スカートの基礎知識の習得		
	17	スカート制作		テキスト準備 部分縫い		
	18	スカート制作		テキスト準備 部分縫い		
	19	スカート制作・提出		テキスト準備 提出確認		
	20					
履修上の留意点						
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。						

授業計画(シラバス)

科目名		アイテムソーイングⅠ		指導担当者名		笹原 和加子		
実務経験		パターンナー 実務経験 22年					実務経験:	有
開講時期		通年		対象学科学年		ファッション学科 1年		
授業方法		講義:		演習:◎		実習:○		実技:
時間数(通年)		通年90時間		週時間数		3時間		
学習到達目標		・被服に関する総合的な知識と製作技術を習得する(ソーイングベーシック・パターンベーシック)。 ・創造力と美的感性の開発を目指す。 ・服飾造形の基礎知識から、それぞれの基本的な服種(アイテム)の「服作り」を通して、服飾全般の知識と応用を学ぶ。						
評価方法 評価基準		・出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。						
使用教材		テキスト 学校法人 文化学園 文化出版局 発行『服飾造形の基礎「スカート・パンツ」「ブラウス・ワンピース」』						
授業外学習 の方法		・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。・授業内で行うパターンの作図や製作方法の復習。						
学期	ターム	項 目		内容・準備資料等				
授業計画 後期	1	スカート(展開デザイン)制作・1/4パターン		テキスト準備 スカートの基礎知識の習得				
	2	スカート(展開デザイン)制作・1/4パターン		テキスト準備 スカートの基礎知識の習得				
	3	スカート(展開デザイン)制作・実寸パターン		テキスト準備 スカートの基礎知識の習得				
	4	スカート(展開デザイン)制作		テキスト準備 スカートの基礎知識の習得				
	5	スカート(展開デザイン)制作		テキスト準備 スカートの基礎知識の習得				
	6	スカート(展開デザイン)制作		テキスト準備 提出確認				
	7	スカート(展開デザイン)制作		テキスト準備 スカートの基礎知識の習得				
	8	スカート(展開デザイン)制作		テキスト準備 スカートの基礎知識の習得				
	9	スカート(展開デザイン)制作		テキスト準備 スカートの基礎知識の習得				
	10	スカート(展開デザイン)制作		テキスト準備 スカートの基礎知識の習得				
	11	スカート(展開デザイン)制作		テキスト準備 スカートの基礎知識の習得				
	12	スカート(展開デザイン)制作		テキスト準備 スカートの基礎知識の習得				
	13	スカート(展開デザイン)制作		テキスト準備 スカートの基礎知識の習得				
	14	スカート(展開デザイン)制作		テキスト準備 スカートの基礎知識の習得				
	15	スカート(裏)制作・発表		テキスト準備 提出確認				
	16							
	17							
	18							
	19							
	20							
履修上の留意点								
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。								

授業計画(シラバス)

科目名		商品企画Ⅰ		指導担当者名		大島 成也		
実務経験		ファッションデザイナー 実務経験 33年					実務経験:	有
開講時期		通年		対象学科学年		ファッション学科 1年		
授業方法		講義:		演習:○		実習:		実技:
時間数(通年)		通年90時間		週時間数		3時間		
学習到達目標		・企画書づくりに必要なマーケティングの基礎からプレゼンテーションの技術までを学ぶ。						
評価方法 評価基準		・出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。						
使用教材		参考配布資料 株式会社 日本実業出版社 発行「企画書づくりの方法」プリント準備						
授業外学習 の方法		授業内での配布資料の復習。						
学期	ターム	項 目		内容・準備資料等				
授業計画 前期	1	企画書とはどのようなものか		プリント準備 あなたのつくる企画書があなたの評価を作る 等				
	2	↓		プリント準備 優れた企画案と正しい準備で成功の企画書をつくる 等				
	3	企画書づくりに必要な情報とのかかわり方		プリント準備 企画書づくりに必要な変化を読み取るための源情報 等				
	4	↓		プリント準備 ビジネスに必要な情報をインターネットから検索してみよう 等				
	5	↓		プリント準備 情報分析の第一歩は気づき情報のあらい直しから 等				
	6	成功を呼ぶ企画テーマづくり		プリント準備 稀代キーワードを上手く活用して、ヒットの企画書をつくる 等				
	7	↓		プリント準備 ターゲットに注目して、時代を先取りする企画テーマをつくる 等				
	8	↓		プリント準備 生活向上型の企画テーマも発想の転換でヒットを生み出す 等				
	9	受け手をうならせる企画案をつくろう		プリント準備 企画書を生かすも殺すも企画案の出来次第 等				
	10	↓		プリント準備 ヒットの企画案の基本になるのは商品コンセプト 等				
	11	↓		プリント準備 クリエイティブな発想でコンセプトを商品化しよう				
	12	中間試験		試験問題準備				
	13	中間試験フィードバック / 企画案のための「調査」のポイント		プリント準備 あなたの私的な仮説は「調査」によって、公的な根拠を獲得する				
	14	企画案のための「調査」のポイント		プリント準備 仮説どおりの評価が得られるのか、コンセプトをチェックする 等				
	15	↓		プリント準備 ターゲットが心惹かれる訴求ポイントが打ち出せているか 等				
	16	企画書を書き出そう		プリント / PC準備 通る企画書は最初の“つかみ”が肝心 / 卒業制作の企画書を考える 等				
	17	↓		プリント / PC準備 背景、企画テーマ、全体構成の3つで、序論をつくろう 等				
	18	↓		プリント / PC準備 背景状況説明の流れを受けて、企画テーマの揭示をしよう 等				
	19	↓		プリント / PC準備 伝えたいポイントを受け手に復習させるための結論づくり 等				
	20							
履修上の留意点								
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。								

授業計画(シラバス)

科目名	商品企画Ⅰ		指導担当者名	大島 成也	
実務経験	ファッションデザイナー 実務経験 33年			実務経験:	有
開講時期	通年		対象学科学年	ファッション学科 1年	
授業方法	講義:	演習:○	実習:	実技:	
時間数(通年)	通年90時間		週時間数	3時間	
学習到達目標	・企画書づくりに必要なマーケティングの基礎からプレゼンテーションの技術までを学ぶ。				
評価方法 評価基準	・出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。				
使用教材	参考配布資料 株式会社 日本実業出版社 発行「企画書づくりの方法」プリント準備				
授業外学習の方法	授業内での配布資料の復習。				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授業計画 後期	1	ビジュアルな企画書はこうつくる	プリント / PC準備	説得力のある企画書には、ビジュアル表現技術は欠かせない 等	
	2	↓	プリント / PC準備	企画書づくりに大切なコトバの表現技術を確認しておこう 等	
	3	↓	プリント / PC準備	マップを使って、企画の有望性をロジカルに表現しよう 等	
	4	パソコン活用の企画書づくり	プリント / PC準備	Power Pointでビジュアルな企画書づくりもこんなに簡単 等	
	5	↓	プリント / PC準備	プレゼンテーションに便利なスライド一覧や発表者用資料 等	
	6	企画を通すプレゼンテーション	プリント / PC準備	綿密な準備がプレゼンテーションを成功させる 等	
	7	↓	プリント / PC準備	見せ方次第で、プレゼンテーションの成功・不成功が決まる 等	
	8	卒業制作の企画書を作成してみよう	プリント / PC準備	情報収集 / 企画テーマづくり 等	
	9	↓	プリント / PC準備	企画案の作成 / 企画案の調査 等	
	10	↓	プリント / PC準備	企画書作成 等	
	11	↓	プリント / PC準備	企画書作成 等	
	12	↓	プリント / PC準備	企画書作成 等	
	13	↓	プリント / PC準備	企画書作成 / プレゼンテーション準備	
	14	↓	プリント / PC準備	企画書作成 / プレゼンテーション準備	
	15	プレゼンテーション	プリント / PC準備	発表	
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
履修上の留意点					
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。					

授業計画(シラバス)

科目名	パターンメイキング I		指導担当者名	笹原 和加子	
実務経験	パタンナー 実務経験 22年			実務経験:	有
開講時期	通年		対象学科学年	ファッション学科 1年	
授業方法	講義:	演習:◎	実習:○	実技:	
時間数(通年)	通年135時間		週時間数	3時間	
学習到達目標	・被服に関する総合的な知識と製作技術を習得する。 ・パターンメイキング技術検定3級取得を目指す。				
評価方法 評価基準	・出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。				
使用教材	テキスト 一般社団法人 日本ファッション教育振興協会 発行『 パターンメイキング技術検定3級ガイドブック 』				
授業外学習の方法	・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。・授業内で行うパターンの作図や製作方法の復習。				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授業計画 前期	1	パターンメイキング技能検定ガイダンス	パターンメイキング技能検定とは		
	2	パターンメイキング技能検定の内容	衣服製作のための用具		
	3	既製服の概念	既製服の基礎知識		
	4	既製服の概念	パターンメイキング用語		
	5	ファーストパターンメイキング	ファーストパターンメイキングとは 筆記科目		
	6	ファーストパターンメイキング	フラットパターンメイキングの基礎知識 理論・製図科目		
	7	ファーストパターンメイキング	フラットパターンメイキング実技1 身頃(縮尺) 理論・製図科目		
	8	ファーストパターンメイキング	フラットパターンメイキング実技2 えり(縮尺) 理論・製図科目		
	9	ファーストパターンメイキング	フラットパターンメイキング実技3 えり(縮尺) 理論・製図科目		
	10	ファーストパターンメイキング	フラットパターンメイキング実技4 スカート(縮尺) 理論・製図科目		
	11	ファーストパターンメイキング	フラットパターンメイキング実技(実寸) 実技科目		
	12	ドレーピングの基礎知識	理論・製図科目		
	13	ドレーピングの実技	実技科目		
	14	工業パターンメイキング	工業パターンメイキングとは、工業用パターンの記号 理論・製図科目		
	15	工業パターンメイキング	工業パターンメイキングの基礎知識 理論・製図科目		
	16	工業パターンメイキング	工業パターンメイキング技術 理論・製図科目		
	17				
	18				
	19				
	20				
履修上の留意点					
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。					

授業計画(シラバス)

科目名	パターンメイキング I		指導担当者名		笹原 和加子	
実務経験	パタンナー 実務経験 22年				実務経験:	有
開講時期	通年		対象学科学年		ファッション学科 1年	
授業方法	講義:	演習:◎		実習:○		実技:
時間数(通年)	通年135時間		週時間数	6時間		
学習到達目標	・被服に関する総合的な知識と製作技術を習得する。 ・パターンメイキング技術検定3級取得を目指す。					
評価方法 評価基準	・出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。					
使用教材	テキスト 一般社団法人 日本ファッション教育振興協会 発行『 パターンメイキング技術検定3級ガイドブック 』					
授業外学習 の方法	・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。・授業内で行うパターンの作図や製作方法の復習。					
学期	ターム	項 目		内容・準備資料等		
授業計画 後期	1	グレーディングとは		理論科目		
	2	グレーディング実技		実技		
	3	グレーディング実技		実技		
	4	グレーディング実技		実技		
	5	グレーディング実技		実技		
	6	素材		素材の知識		
	7	素材		理論・製図科目		
	8	素材		素材とファーストパターンメイキング		
	9	素材		理論・製図科目		
	10	検定対策		過去問対策		
	11	検定対策		過去問対策		
	12	検定対策		過去問対策		
	13	検定対策		過去問対策		
	14	検定対策		過去問対策		
	15	検定対策		過去問対策		
	16	検定対策		過去問対策		
	17	検定対策		過去問対策		
	18	検定対策		過去問対策		
	19	検定対策		過去問対策		
	20	検定対策		過去問対策		
履修上の留意点						
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。						

授業計画(シラバス)

科目名	デザイン画 I		指導担当者名		大島 成也	
実務経験	ファッションデザイナー 実務経験 33年				実務経験:	有
開講時期	通年		対象学科学年		ファッション学科 1年	
授業方法	講義:	演習:○		実習:	実技:	
時間数(通年)	通年90時間		週時間数	3時間		
学習到達目標	・ファッションデザイン画の基礎を習得する。 ・画材の使用方法を習得する。 ・コンテスト入賞を目指す。					
評価方法 評価基準	・出席、授業態度、提出課題等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。					
使用教材	テキスト 学校法人 文化学園 文化出版局 発行「ファッションデザイン画」、水彩絵の具一式、コピック各種					
授業外学習 の方法	・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。 ・デザイン画をより多く書くことでバランス、構成を理解する。					
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等			
授業計画 前期	1	ファッション画の技法・デザイン画について	テキスト準備 オリテ・ヒアリング・動機づけ			
	2	画材の説明、トレーニング	テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準備 画材の使用方法を習得する			
	3	絵の具	テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準備 画材の使用方法を習得する			
	4	パステル	テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準備 画材の使用方法を習得する			
	5	人体について	テキスト、コピック各種準備 人体構成の知識習得する			
	6	デッサン、クロッキー	テキスト、コピック各種準備 人体構成の知識習得する			
	7	プロポーション	テキスト、コピック各種準備 バランス構成の知識習得する			
	8	ポーズ	テキスト、コピック各種準備 バランス構成の知識習得する			
	9	デッサン、クロッキー	テキスト、コピック各種準備 バランス構成の知識習得する			
	10	前期末試験	デザイン画作成、提出			
	11	部分練習、着装画	テキスト、コピック各種準備 画材の使用方法を習得する			
	12	写真模写	テキスト、コピック各種準備 バランス構成の知識習得する			
	13	デッサン、クロッキー	テキスト、コピック各種準備 バランス構成の知識習得する			
	14	彩色デザイン画	テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準備 画材の使用方法を習得する			
	15	基本着装	テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準備 コーディネート含む			
	16	基本着装	テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準備 デティール含む			
	17	デッサン、クロッキー	テキスト、コピック各種準備 着装相モデル			
	18	造形トレーニング	テキスト、コピック各種準備 着装相モデル			
	19	テーマ別創作デザイン	テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準備 イメージソースの膨らませ方			
	20	コンペ対策	テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準備 イメージソースの膨らませ方			
履修上の留意点						
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。						

授業計画(シラバス)

科目名		デザイン画 I		指導担当者名		大島 成也		
実務経験		ファッションデザイナー 実務経験 33年					実務経験:	有
開講時期		通年		対象学科学年		ファッション学科 1年		
授業方法		講義:		演習:○		実習:		実技:
時間数(通年)		通年90時間		週時間数		3時間		
学習到達目標		・ファッションデザイン画の基礎を習得する。 ・画材の使用方法を習得する。 ・コンテスト入賞を目指す。						
評価方法 評価基準		・出席、授業態度、提出課題等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。						
使用教材		テキスト 学校法人 文化学園 文化出版局 発行「ファッションデザイン画」、水彩絵の具一式、コピック各種						
授業外学習 の方法		・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。 ・デザイン画をより多く書くことでバランス、構成を理解する。						
学期	ターム	項 目		内容・準備資料等				
授業計画 後期	1	コンペ対策		テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準 イメージソースの膨らませ方				
	2	材質表現		テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準 画材の使用方法を習得する				
	3	写真の模写		テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準 画材の使用方法を習得する				
	4	自然をヒントに		テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準 画材の使用方法を習得する				
	5	自然をヒントに		テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準 画材の使用方法を習得する				
	6	抽象画の構成		テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準 画材の使用方法を習得する				
	7	抽象画の構成		テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準 画材の使用方法を習得する				
	8	抽象画の構成		テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準 画材の使用方法を習得する				
	9	抽象画の構成		テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準 画材の使用方法を習得する				
	10	省略画		テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準 抽象画レッスン				
	11	省略画		テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準 抽象画レッスン				
	12	省略画		テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準 抽象画レッスン				
	13	ディフォルメ化		テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準 抽象画レッスン				
	14	ディフォルメ化		テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準 抽象画レッスン				
	15	ディフォルメ化		テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準 抽象画レッスン				
	16	コンペ制作		テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準 テーマ別発想トレーニング				
	17	コンペ制作		テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準 テーマ別発想トレーニング				
	18	コンペ制作		テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準 テーマ別発想トレーニング				
	19							
	20							
履修上の留意点								
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。								

授業計画(シラバス)

科目名		修了制作		指導担当者名		近内 睦美	
実務経験						実務経験： 無	
開講時期		後期		対象学科学年		ファッション学科 1年	
授業方法		講義：		演習：		実習：○ 実技：	
時間数(通年)		後期50時間		週時間数		3時間	
学習到達目標		・1年間で学習した各科目の知識・技術を活かし、自主制作を行う。					
評価方法 評価基準		・出席、授業態度、提出物、プレゼンテーション等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。					
使用教材		1年間で使用したテキスト / 道具一式					
授業外学習 の方法		ファッション業界全体の情報収集など。					
学期	ターム	項 目		内容・準備資料等			
授業計画 後期	1	修了制作の概要 / 企画		情報収集/プランニング/企画考案 等			
	2	企画 / 制作準備		企画書作成/デザイン出し 等			
	3	デザイン画制作		デザイン画作成			
	4	デザイン画制作/制作準備		デザイン画作成/生地購入/パターン作図 等			
	5	中間チェック/パターン制作		中間チェック/生地購入/パターン作図 等			
	6	パターン制作		パターン作図/パターン作製 等			
	7	パターン制作		パターン作製			
	8	制作		衣装制作			
	9	制作		衣装制作			
	10	制作		衣装制作			
	11	中間チェック/制作		中間チェック/衣装制作			
	12	制作		衣装制作			
	13	制作		衣装制作			
	14	制作		衣装制作/プレゼンテーション資料制作			
	15	プレゼンテーション準備		プレゼンテーション資料作成(企画書をパワーポイントにて作成)			
	16	プレゼンテーション		プレゼンテーション 作品発表 資料提出 結果発表			
	17						
	18						
	19						
	20						
履修上の留意点							
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。							

授業計画(シラバス)

科目名	MOS		指導担当者名	飯島 勉	
実務経験	IT関連企業実務経験 7年			実務経験:	有
開講時期	前期		対象学科学年	ファッション学科 1年	
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:	
時間数(通年)	前期45時間		週時間数	3時間	
学習到達目標	・ITリテラシー能力を習得し、ファッション業界での実務的な部分を身に付ける。 ・プレゼンテーション能力を養う。 ・MOS検定一般レベル取得を目指す。				
評価方法 評価基準	・出席、授業態度、提出課題、試験課題提出等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。				
使用教材	テキスト FOM出版 「よくわかる Microsoft Word 2019 & Microsoft Excel 2019 & Microsoft PowerPoint 2019」 FOM出版 「よくわかるマスターMicrosoft Office Specialist Excel 365&2019 対策テキスト&問題集」				
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。 ・授業内で行う例題(問題)の復習。				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授業計画 前期	1	Excel	基本操作		
	2	Excel	データを入力しよう		
	3	Excel	表を作成しよう		
	4	Excel	グラフを作成しよう		
	5	Excel	データを分析しよう		
	6	検定対策	ワークシートやブックの管理 教科書「よくわかるマスター MOS Excel」		
	7	検定対策	ワークシートやブックの管理 教科書「よくわかるマスター MOS Excel」		
	8	検定対策	ワークシートやブックの管理 教科書「よくわかるマスター MOS Excel」		
	9	検定対策	セルやセル範囲のデータの管理 教科書「よくわかるマスター MOS Excel」		
	10	検定対策	セルやセル範囲のデータの管理 教科書「よくわかるマスター MOS Excel」		
	11	検定対策	テーブルとテーブルのデータ管理 教科書「よくわかるマスター MOS Excel」		
	12	検定対策	テーブルとテーブルのデータ管理 教科書「よくわかるマスター MOS Excel」		
	13	検定対策	数式や関数を使用した演算の実行 教科書「よくわかるマスター MOS Excel」		
	14	検定対策	数式や関数を使用した演算の実行 教科書「よくわかるマスター MOS Excel」		
	15	検定対策	グラフの管理 教科書「よくわかるマスター MOS Excel」		
	16	検定対策	グラフの管理 教科書「よくわかるマスター MOS Excel」		
	17	検定対策	実践問題 教科書「よくわかるマスター MOS Excel」		
	18	検定対策	実践問題 教科書「よくわかるマスター MOS Excel」		
	19	検定対策	実践問題 教科書「よくわかるマスター MOS Excel」		
	20	検定対策	実践問題 教科書「よくわかるマスター MOS Excel」		
履修上の留意点					
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。					

授業計画(シラバス)

科目名	デジタルデザイン I		指導担当者名		飯島 勉	
実務経験	IT関連企業実務経験 7年				実務経験:	有
開講時期	通年		対象学科学年		ファッション学科 1年	
授業方法	講義:○	演習:		実習:		実技:
時間数(通年)	通年90時間		週時間数	3時間		
学習到達目標	・アパレル企画に必要な Illustratorの習得。 (制作課題を通しアパレルメーカーの実践的な作業に取組み、必要な内容、技術を身につけさせる。)					
評価方法 評価基準	・出席、授業態度、提出課題、試験課題提出等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。					
使用教材	テキスト ウィネット 発行 「Illustratorクイックマスターの教科書」					
授業外学習 の方法	・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。・授業内で行った操作の復習。					
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等			
授業計画 前期	1	基本操作編	Illustratorの基本操作			
	2	基本操作編	Illustratorの基本操作			
	3	基本操作編	オブジェクトの基本操作			
	4	基本操作編	オブジェクトの基本操作			
	5	基本操作編	カラー設定の基本			
	6	基本操作編	オブジェクト編集			
	7	基本操作編	文字編集の基本操作			
	8	基本操作編	パスの基本操作			
	9	基本操作編	パスの基本操作			
	10	応用操作編	オブジェクトの応用操作			
	11	応用操作編	オブジェクトの応用操作			
	12	応用操作編	カラー設定の応用操作			
	13	応用操作編	カラー設定の応用操作			
	14	応用操作編	文字編集の応用操作			
	15	応用操作編	文字編集の応用操作			
	16	応用操作編	文字編集の応用操作			
	17	応用操作編	文字編集の応用操作			
	18	応用操作編	文字編集の応用操作			
	19					
	20					
履修上の留意点						
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。						

授業計画(シラバス)

科目名	デジタルデザイン I		指導担当者名		飯島 勉	
実務経験	IT関連企業実務経験 7年				実務経験:	有
開講時期	通年		対象学科学年		ファッション学科 1年	
授業方法	講義:○	演習:		実習:	実技:	
時間数(通年)	通年90時間		週時間数	3時間		
学習到達目標	・アパレル企画に必要なIllustratorの習得。 (制作課題を通しアパレルメーカーの実践的な作業に取組み、必要な内容、技術を身につけさせる。)					
評価方法 評価基準	・出席、授業態度、提出課題、試験課題提出等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。					
使用教材	テキスト ウィネット 発行 「Illustratorクイックマスターの教科書」					
授業外学習 の方法	・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。・授業内で行った操作の復習。					
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等			
授 業 計 画 後 期	1	応用操作編	パスの応用操作			
	2	コンテンツ制作編	パスの応用操作			
	3	コンテンツ制作編	イラストレーション			
	4	コンテンツ制作編	イラストレーション			
	5	コンテンツ制作編	ロゴマーク			
	6	コンテンツ制作編	ロゴマーク			
	7	コンテンツ制作編	Webデザイン			
	8	コンテンツ制作編	Webデザイン			
	9	コンテンツ制作編	グラフを作成			
	10	コンテンツ制作編	グラフを作成			
	11	コンテンツ制作編	印刷原稿の作成			
	12	コンテンツ制作編	印刷原稿の作成			
	13	コンテンツ制作編	印刷原稿の作成			
	14	コンテンツ制作編	印刷原稿の作成			
	15	コンテンツ制作編	印刷原稿の作成			
	16	コンテンツ制作編	印刷原稿の作成			
	17	コンテンツ制作編	印刷原稿の作成			
	18	コンテンツ制作編	印刷原稿の作成			
	19					
	20					
履修上の留意点						
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。						

授業計画(シラバス)

科目名		実践行動学Ⅱ（就職実務含む）		指導担当者名		柿沼 文恵		
実務経験							実務経験:	無
開講時期		通年		対象学科学年		ファッション学科 2年		
授業方法		講義:○		演習:		実習:		実技:
時間数(通年)		通年30時間		週時間数		1時間		
学習到達目標		就職活動に必要な目的意識、社会常識、活動スキルを学び内定する。						
評価方法 評価基準		授業態度・提出物・活動状況など。						
使用教材		SUCCESS						
授業外学習の方法		この授業を受けて将来自分のなりたい姿を常に考える事。						
学期	ターム	項 目		内容・準備資料等				
授業計画 前期	1	オリエンテーション		就職活動について				
	2	就職活動の心構え身だしなみ		昨年の資料に基づくレクチャー				
	3	就職活動での身だしなみ		5-1~5-1(実践編) 身だしなみ				
	4	就職活動の流れ		学校でのルールと大学生、高校生、専門学校生の違い				
	5	職業を知る		業界の常識をレクチャー				
	6	情報収集、企業研究、資料請求 1		2-2(実践編) 業界マップの理解				
	7	情報収集、企業研究、資料請求 2		2-3 業界ごとに必要な仕事内容を理解する				
	8	情報収集、企業研究、資料請求 3		業界ごとに必要な仕事内容を理解する				
	9	自分自身を知る 自分史作成 1		自己PRのネタを探す				
	10	自分自身を知る 自分史作成 2		自己PRのネタを探す(経験)				
	11	自分自身を知る 自分史作成 3		自己PRのネタを探す(特性)				
	12	自分自身を知る 自分史作成 4		自己PRの骨格を作る				
	13	自分自身を知る 自分史作成 5		自己PRの骨格を作る(実践編)				
	14	志望動機の作り方 1		業界、会社にあった動機作り				
	15	志望動機の作り方 2		業界、会社にあった動機作り				
	16	自己PRの作り方 1		業界、会社に合った自己PR 作り				
	17	自己PRの作り方 2		業界、会社に合った自己PR 作り				
	18	自己PRの作り方 3		業界、会社に合った自己PR 作り				
	19	履歴書作成		期末評価				
	20	履歴書作成		まとめ				
履修上の留意点								
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。								

授業計画(シラバス)

科目名	実践行動学Ⅱ（就職実務含む）		指導担当者名	柿沼 文恵	
実務経験				実務経験:	無
開講時期	通年		対象学科学年	ファッション学科 2年	
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:	
時間数(通年)	通年30時間		週時間数	1時間	
学習到達目標	就職活動に必要な目的意識、社会常識、活動スキルを学び内定する。				
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・活動状況等				
使用教材	SUCCESS				
授業外学習の方法	この授業を受けて将来自分のなりたい姿を常に考える事。				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授業計画 後期	1	志望動機の作り方 1	実践) 業界、会社にあった動機作り		
	2	志望動機の作り方 2	実践) 業界、会社にあった動機作り		
	3	作成書類 1	実践)加えて履歴書、エントリーシート、添え状など 各種書類を書けるように、また、封筒の書き方、その他の書類（事務局の書類の手続き）、ポートフォリオなど *履歴書の完成		
	4	作成書類 2			
	5	作成書類 3			
	6	企業訪問	準備、当日、事後の指導		
	7	就職試験のマナー 1	入退室		
	8	職試験のマナー 2	面接試験対策 1		
	9	職試験のマナー 3	面接試験対策 2		
	10	筆記試験対策 1	筆記試験について、種類や方法を知る		
	11	筆記試験対策 2	特に小論文の書き方(内容は自己PRや志望動機をまとめる内容がよい)		
	12	筆記試験対策 3	特に小論文の書き方(内容は自己PRや志望動機をまとめる内容がよい)		
	13	企業研究 1	求人票の見方・自分の希望する企業を調査(実践)		
	14	企業研究 2	求人票の見方・自分の希望する企業を調査(実践)		
	15	企業研究 3	求人票の見方・自分の希望する企業を調査(実践)		
	16	履歴書・面接試験	履歴書、入退室の確認は必須		
	17	履歴書・面接試験	履歴書、入退室の確認は必須		
	18	ポートフォリオについて	作品について		
	19	まとめ	就職活動のまとめ		
	20	レポート	レポート提出		
履修上の留意点					
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。					

授業計画(シラバス)

科目名	アパレルマーケティングⅡ		指導担当者名	笹原 和加子	
実務経験	パターンナー 実務経験 22年			実務経験:	有
開講時期	通年		対象学科学年	ファッション学科 2年	
授業方法	講義:	演習:◎	実習:○	実技:	
時間数(通年)	通年90時間		週時間数	3時間	
学習到達目標	・被服に関する総合的な知識と製作技術を習得する。 ・創造力と美的感性の開発を目指す。 ・服飾造形の基礎知識から、それぞれの基本的な服種(アイテム)の「服作り」を通して、服飾全般の知識と応用を学ぶ。				
評価方法 評価基準	・出席、授業態度、提出課題、試験課題提出等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。				
使用教材	テキスト 学校法人 文化学園 文化出版局 発行 『服飾造形講座「工業パターンマーケティング」』				
授業外学習 の方法	・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。・授業内で行うパターンの作図や製作方法の復習。				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授業計画 前期	1	アパレル企業におけるパターンマーケティング	アパレル企業の構造、パターンメーカーの業務、CAD		
	2	基礎知識	工業用ボディについて、パターンマーケティングの基礎		
	3	基礎知識	用具、ボディのガイドラインの位置と入れ方		
	4	基礎知識	トワルの種類と準備		
	5	基礎知識	基本テクニック(ピンの打ち方、縫い代切込み、マーキング)		
	6	基礎知識	基本テクニック(ピドラフティングとパターンチェック、縫い代つけ方)		
	7	原型	ドレス原型		
	8	原型	ブランド原型		
	9	原型	シルエット原型 プリンセスライン原型		
	10	原型	シルエット原型 ブラウス原型		
	11	原型	シルエット原型 ジャケット原型 3面構成のジャケット原型		
	12	原型	シルエット原型 ジャケット原型 4面構成のジャケット原型		
	13	原型	シルエット原型 ジャケット原型 5面構成のジャケット原型		
	14	基本アイテムのパターンマーケティング	ジャケット 3面構成のジャケット		
	15	基本アイテムのパターンマーケティング	ジャケット 3面構成のジャケット		
	16	基本アイテムのパターンマーケティング	ジャケット 3面構成のジャケット		
	17	期末テスト			
	18	期末テスト			
	19				
	20				
履修上の留意点					
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。					

授業計画(シラバス)

科目名	アパレルマーケティングⅡ		指導担当者名	笹原 和加子	
実務経験	パターンナー 実務経験 22年			実務経験:	有
開講時期	通年		対象学科学年	ファッション学科 2年	
授業方法	講義:	演習:◎	実習:○	実技:	
時間数(通年)	通年90時間		週時間数	3時間	
学習到達目標	・被服に関する総合的な知識と製作技術を習得する。 ・創造力と美的感性の開発を目指す。 ・服飾造形の基礎知識から、それぞれの基本的な服種(アイテム)の「服作り」を通して、服飾全般の知識と応用を学ぶ。				
評価方法 評価基準	・出席、授業態度、提出課題、試験課題提出等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。				
使用教材	テキスト 学校法人 文化学園 文化出版局 発行 『服飾造形講座「工業パターンマーケティング」』				
授業外学習 の方法	・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。・授業内で行うパターンの作図や製作方法の復習。				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授業計画 後期	1	基本アイテムのパターンマーケティング	ジャケット 4面構成のジャケット		
	2	基本アイテムのパターンマーケティング	ジャケット 4面構成のジャケット		
	3	基本アイテムのパターンマーケティング	ワンピースドレス		
	4	基本アイテムのパターンマーケティング	ワンピースドレス		
	5	基本アイテムのパターンマーケティング	ワンピースドレス		
	6	基本アイテムのパターンマーケティング	ワンピースドレス		
	7	基本アイテムのパターンマーケティング	ワンピースドレス		
	8	オリジナル制作	縫製確認		
	9	オリジナル制作	縫製確認		
	10	オリジナル制作	縫製確認		
	11	オリジナル制作	縫製確認		
	12	オリジナル制作	縫製確認		
	13	オリジナル制作	縫製確認		
	14	オリジナル制作	縫製確認		
	15	オリジナル制作	縫製確認		
	16	オリジナル制作	縫製確認		
	17	オリジナル制作	縫製確認		
	18	提出	提出確認		
	19				
	20				
履修上の留意点					
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。					

授業計画(シラバス)

科目名	アイテムソーイングⅡ		指導担当者名	笹原 和加子	
実務経験	パターンナー 実務経験 22年			実務経験:	有
開講時期	通年		対象学科学年	ファッション学科 2年	
授業方法	講義:	演習:◎	実習:○	実技:	
時間数(通年)	通年90時間		週時間数	3時間	
学習到達目標	・被服に関する総合的な知識と製作技術を習得する(ソーイングベーシック・パターンベーシック)。 ・創造力と美的感性の開発を目指す。 ・服飾造形の基礎知識から、それぞれの基本的な服種(アイテム)の「服作り」を通して、服飾全般の知識と応用を学ぶ。				
評価方法 評価基準	・出席、授業態度、提出課題、試験課題提出等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。				
使用教材	テキスト 学校法人 文化学園 文化出版局 発行『服飾造形講座「スカート・パンツ」』				
授業外学習 の方法	・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。・授業内で行うパターンの作図や製作方法の復習。				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授業計画 前期	1	オリエンテーション	授業の進め方、評価方法		
	2	リメイク作品制作	デニムリメイク 実習		
	3	リメイク作品制作	デニムリメイク 実習		
	4	パンツについて	パンツとは 等		
	5	パンツの名称・デザイン・素材	形態による名称と素材 等		
	6	パンツの機能性	動作による寸法の変化 等		
	7	採寸、ストレートパンツ(基本型)の作図	基本パターンからのシルエット展開 等		
	8	デザイン展開と作図・パターン展開	スリムパンツ		
	9	デザイン展開と作図・パターン展開	ベルボトムパンツ		
	10	デザイン展開と作図・パターン展開	ワイドパンツ		
	11	デザイン展開と作図・パターン展開	フレアパンツ		
	12	仮縫い方法と試着補正法	パターンメイキング、裁断		
	13	仮縫い方法と試着補正法	柄合わせ、仮縫い		
	14	仮縫い方法と試着補正法	試着補正方法とパターン修正		
	15	仮縫い方法と試着補正法	試着補正方法とパターン修正		
	16	ストレートパンツの縫製	一重仕立て		
	17	期末テスト			
	18	期末テスト			
	19				
	20				
履修上の留意点					
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。					

授業計画(シラバス)

科目名	アイテムソーイングⅡ		指導担当者名	笹原 和加子	
実務経験	パターンナー 実務経験 22年			実務経験:	有
開講時期	通年		対象学科学年	ファッション学科 2年	
授業方法	講義:	演習:◎	実習:○	実技:	
時間数(通年)	通年90時間		週時間数	3時間	
学習到達目標	・被服に関する総合的な知識と製作技術を習得する(ソーイングベーシック・パターンベーシック)。 ・創造力と美的感性の開発を目指す。 ・服飾造形の基礎知識から、それぞれの基本的な服種(アイテム)の「服作り」を通して、服飾全般の知識と応用を学ぶ。				
評価方法 評価基準	・出席、授業態度、提出課題、試験課題提出等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。				
使用教材	テキスト 学校法人 文化学園 文化出版局 発行 『服飾造形講座「スカート・パンツ」』				
授業外学習 の方法	・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。・授業内で行うパターンの作図や製作方法の復習。				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授業計画 後期	1	ストレートパンツの縫製	前裏仕立て		
	2	ストレートパンツの縫製	総裏仕立て		
	3	ストレートパンツの縫製	総裏仕立て		
	4	部分縫い	ハイウエストの脇ポケット、カーブ切り替えポケット、サイドシームポケット		
	5	部分縫い	ハイウエストの脇ポケット、カーブ切り替えポケット、サイドシームポケット		
	6	部分縫い	片玉縁ポケット		
	7	部分縫い	片玉縁ポケット		
	8	部分縫い	ハイウエストの前あきの作り方、カーブしたベルトのつけ方		
	9	部分縫い	ハイウエストの前あきの作り方、カーブしたベルトのつけ方		
	10	部分縫い	ダブル裾始末		
	11	部分縫い	ダブル裾始末		
	12	オリジナル制作	実習		
	13	オリジナル制作	実習		
	14	オリジナル制作	実習		
	15	オリジナル制作	実習		
	16	オリジナル制作	実習		
	17	オリジナル制作	実習		
	18	課題提出	提出確認		
	19				
	20				
履修上の留意点					
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。					

授業計画(シラバス)

科目名	ファッションコーディネートⅡ		指導担当者名	市川 美佳	
実務経験	デザイン会社制作業務 実務経験10年			実務経験:	有
開講時期	前期		対象学科学年	ファッション学科 2年	
授業方法	講義:	演習:○	実習:	実技:	
時間数(通年)	前期45時間		週時間数	3時間	
学習到達目標	・戦後から今日まで様々に変化したファッションの歴史、ファッション・コーディネートの種類、ファッション・ビジネス、商品知識や企画の立て方など、スタイリストとしての基本的な知識、専門技術を理解させる。				
評価方法 評価基準	・出席、授業態度、提出課題、試験課題提出等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。				
使用教材	テキスト 学校法人 文化学園 文化出版局 発行「スタイリスト&コーディネーターの条件」				
授業外学習 の方法	・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授業計画 前期	1	第5章 ファッション商品知識	テキスト準備 シャツ / ブラウス / ワンピース 等		
	2	第5章 ファッション商品知識	テキスト準備 ジャケット / コート / 帽子 等		
	3	第6章 ファッションビジネス	テキスト準備 マーチャンダイジングの定義 等		
	4	第6章 ファッションビジネス	テキスト準備 市場調査 / ショップリサーチの実例 等		
	5	第6章 ファッションビジネス	テキスト準備 マーケットセグメンテーション 等		
	6	第7章 ファッションショー	テキスト準備 ショーの目的 / ショーの会場と形態 / 舞台案 / 企画のポイント 等		
	7	第7章 ファッションショー	テキスト準備 コンセプト分析 / イメージ分析 / デザインの具体化 等		
	8	第7章 ファッションショー	テキスト準備 イメージとデザイン画 / モデル / プレス担当 等		
	9	第8章 ファッション心理学	テキスト準備 ファッション心理学とは 等		
	10	第9章 ファッションの専門用語	テキスト準備 アースカラー / アールデコ / アイコンショップ 等		
	11	第10章 ビジネスマナーの基本知識	テキスト準備 身だしなみ / ヘアスタイルとメイクアップ 等		
	12	実践編	ディスプレイ授業		
	13	実践編	ディスプレイ授業		
	14	実践編	ディスプレイ授業		
	15	実践編	ディスプレイ授業		
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
履修上の留意点					
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。					

授業計画(シラバス)

科目名	パターンメイキングⅡ		指導担当者名	笹原 和加子	
実務経験	パタンナー 実務経験 22年			実務経験:	有
開講時期	通年		対象学科学年	ファッション学科 2年	
授業方法	講義:	演習:◎	実習:○	実技:	
時間数(通年)	通年90時間		週時間数	3時間	
学習到達目標	・被服に関する総合的な知識と製作技術を習得する(ソーイングベーシック・パターンベーシック)。 ・創造力と美的感性の開発を目指す。 ・服飾造形の基礎知識から、それぞれの基本的な服種(アイテム)の「服作り」を通して、服飾全般の知識と応用を学ぶ。				
評価方法 評価基準	・出席、授業態度、提出課題、試験課題提出等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。				
使用教材	テキスト 学校法人 文化学園 文化出版局 発行 『服飾造形講座「ジャケット・ベスト」「工業パターンメイキング』』				
授業外学習の方法	・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。・授業内で行うパターンの作図や製作方法の復習。				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授業計画 前期	1	オリエンテーション	テキスト準備 授業の進め方、評価方法		
	2	ジャケットについて	テキスト準備 ジャケットとは 等		
	3	ジャケットの名称・デザイン・素材	テキスト準備 形態による名称と素材 等		
	4	ジャケットの機能性 / ジャケットの作図	テキスト準備 動作による寸法の変化 等		
	5	デザイン展開と作図・パターン展開	テキスト準備 基本パターンからのシルエット展開 等		
	6	デザイン展開と作図・パターン展開	テキスト準備 (オリジナル作成)		
	7	デザイン展開と作図・パターン展開	テキスト準備 (オリジナル作成)		
	8	デザイン展開と作図・パターン展開	テキスト準備 (オリジナル作成)		
	9	ジャケット制作・1/4パターン	テキスト準備 ジャケット基礎知識の習得		
	10	ジャケット制作・1/4パターン	テキスト準備 ジャケット基礎知識の習得		
	11	ジャケット制作・実寸パターン	テキスト準備 部分縫い		
	12	ジャケット制作	テキスト準備 部分縫い		
	13	ジャケット制作	中間試験提出確認		
	14	ジャケット制作	テキスト準備ジャケットの基礎知識の習得		
	15	ジャケット制作	テキスト準備ジャケットの基礎知識の習得		
	16	ジャケット制作	テキスト準備ジャケットの基礎知識の習得		
	17	ジャケット制作	テキスト準備ジャケットの基礎知識の習得		
	18	ジャケット制作	テキスト準備ジャケットの基礎知識の習得		
	19	ジャケット制作	テキスト準備 提出確認		
	20				
履修上の留意点					
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。					

授業計画(シラバス)

科目名	パターンメイキングⅡ		指導担当者名	笹原 和加子	
実務経験	パタンナー 実務経験 22年			実務経験:	有
開講時期	通年		対象学科学年	ファッション学科 2年	
授業方法	講義:	演習:◎	実習:○	実技:	
時間数(通年)	通年90時間		週時間数	3時間	
学習到達目標	・被服に関する総合的な知識と製作技術を習得する(ソーイングベーシック・パターンベーシック)。 ・創造力と美的感性の開発を目指す。 ・服飾造形の基礎知識から、それぞれの基本的な服種(アイテム)の「服作り」を通して、服飾全般の知識と応用を学ぶ。				
評価方法 評価基準	・出席、授業態度、提出課題、試験課題提出等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。				
使用教材	テキスト 学校法人 文化学園 文化出版局 発行 『服飾造形講座「ジャケット・ベスト」「工業パターンメイキング」』				
授業外学習の方法	・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。・授業内で行うパターンの作図や製作方法の復習。				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授業計画 後期	1	ジャケット制作・1/4パターン	テキスト準備 ジャケット基礎知識の習得		
	2	ジャケット制作・1/4パターン	テキスト準備 ジャケット基礎知識の習得		
	3	ジャケット制作・実寸パターン	テキスト準備 部分縫い		
	4	ジャケット制作	テキスト準備 部分縫い		
	5	ジャケット制作	中間試験提出確認		
	6	ジャケット制作	テキスト準備ジャケットの基礎知識の習得		
	7	ジャケット制作	テキスト準備ジャケットの基礎知識の習得		
	8	ジャケット制作	テキスト準備ジャケットの基礎知識の習得		
	9	ジャケット制作	テキスト準備ジャケットの基礎知識の習得		
	10	ジャケット制作	テキスト準備ジャケットの基礎知識の習得		
	11	ジャケット制作	テキスト準備ジャケットの基礎知識の習得		
	12	ジャケット制作	テキスト準備ジャケットの基礎知識の習得		
	13	ジャケット制作	テキスト準備ジャケットの基礎知識の習得		
	14	ジャケット制作	提出確認		
	15	ジャケット制作	課題提出		
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
履修上の留意点					
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。					

授業計画(シラバス)

科目名	卒業制作		指導担当者名	近内 睦美	
実務経験				実務経験:	無
開講時期	後期		対象学科学年	ファッション学科 2年	
授業方法	講義:	演習:	実習:○	実技:	
時間数(通年)	後期60時間		週時間数	6時間	
学習到達目標	・2年間で学習した各科目の知識・技術を活かし、自主制作を行う。				
評価方法 評価基準	・出席、授業態度、提出物、プレゼンテーション等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。				
使用教材	2年間で使用したテキスト / 道具一式				
授業外学習 の方法	ファッション業界全体の情報収集など。				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授業計画 後期	1	卒業制作の概要 / 企画	情報収集 / プランニング / 企画考案 / デザイン出し / パターン制作 等		
	2	卒業制作の概要 / 企画	情報収集 / プランニング / 企画考案 / デザイン出し / パターン制作 等		
	3	企画 / 制作準備	企画書作成 / デザイン出し / パターン制作 / 生地購入 等		
	4	企画 / 制作準備	企画書作成 / デザイン出し / パターン制作 / 生地購入 等		
	5	中間チェック / 制作	パターン制作 / 生地購入 / 衣装制作 等		
	6	中間チェック / 制作	パターン制作 / 生地購入 / 衣装制作 等		
	7	中間チェック / 制作	パターン制作 / 生地購入 / 衣装制作 等		
	8	製作 / プレゼンテーション準備	衣装制作 / プレゼンテーション資料作成(企画書をパワーポイントにて作成) 等		
	9	製作 / プレゼンテーション準備	衣装制作 / プレゼンテーション資料作成(企画書をパワーポイントにて作成) 等		
	10	プレゼンテーション	作品、作成資料 準備 資料提出		
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
履修上の留意点					
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。					

授業計画(シラバス)

科目名	商品企画Ⅱ		指導担当者名	大島 成也	
実務経験	ファッションデザイナー 実務経験 33年			実務経験:	有
開講時期	通年		対象学科学年	ファッション学科 2年	
授業方法	講義:	演習:○	実習:	実技:	
時間数(通年)	通年90時間		週時間数	3時間	
学習到達目標	・企画書づくりに必要なマーケティングの基礎からプレゼンテーションの技術までを学ぶ。				
評価方法 評価基準	・出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。				
使用教材	参考配布資料 株式会社 日本実業出版社 発行「企画書づくりの方法」プリント準備				
授業外学習 の方法	授業内での配布資料の復習。				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授業計画 前期	1	ブランドとは何か	プリント準備 ブランドとは		
	2	ブランドとは何か	プリント準備 ブランドとは		
	3	ブランドとは何か	プリント準備 ブランドの構成要素		
	4	ブランドとは何か	プリント準備 ブランドの構成要素		
	5	ブランドとは何か	プリント準備 ブランディングとは何か		
	6	ブランドとは何か	プリント準備 ブランディングとは何か		
	7	ブランドとは何か	プリント準備 ブランディング種類		
	8	ブランドとは何か	プリント準備 ブランディングの現場から ブランディングとリサーチ		
	9	立脚点を揃える	ブランディングに対する誤解		
	10	立脚点を揃える	ブランディングの現場から① ブランディング×プロジェクト		
	11	環境変化を捉える	世の中の連動を捉える:PEST分析		
	12	環境変化を捉える	世の中の連動を捉える:PEST分析		
	13	環境変化を捉える	市場の機会を見出す:3C分析		
	14	環境変化を捉える	市場の機会を見出す:3C分析		
	15	環境変化を捉える	ブランディングの現場から②		
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
履修上の留意点					
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。					

授業計画(シラバス)

科目名		商品企画Ⅱ		指導担当者名		大島 成也		
実務経験		ファッションデザイナー 実務経験 33年					実務経験:	有
開講時期		通年		対象学科学年		ファッション学科 2年		
授業方法		講義:		演習:○		実習:		実技:
時間数(通年)		通年90時間		週時間数		3時間		
学習到達目標		・企画書づくりに必要なマーケティングの基礎からプレゼンテーションの技術までを学ぶ。						
評価方法 評価基準		・出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。						
使用教材		参考配布資料 株式会社 日本実業出版社 発行「企画書づくりの方法」プリント準備						
授業外学習 の方法		授業内での配布資料の復習。						
学期	ターム	項 目			内容・準備資料等			
授業計画 後期	1	ブランド戦略を策定する			プリント準備 世の中の機運を捉える:PEST分析			
	2	↓			プリント準備			
	3	↓			プリント準備 市場の機会を見出す:3C分析			
	4	パソコン活用の企画書づくり			プリント準備			
	5	↓			プリント準備 ブランディングの現場 ブランディング×分析			
	6	企画を通すプレゼンテーション			プリント準備			
	7	↓			プリント準備 ブランドのアイデンティティを策定する			
	8	卒業制作の企画書を作成してみよう			プリント準備 ブランド提供価値を設定する			
	9	↓			プリント準備 知覚品質を設定する			
	10	↓			プリント準備 ブランドパーソナリティを設定する			
	11	評価指標を設定する			プリント準備 ブランドエクイティを理解する			
	12	↓			プリント準備 KPIとは? KPIの設定方法とKPI/KGI指標			
	13	↓			ブランディングとワークショップ			
	14	STP戦略を策定する			セグメンテーション:消費者や市場を分類する			
	15	↓			ターゲティング:有望なターゲットを設定			
	16							
	17							
	18							
	19							
	20							
履修上の留意点								
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。								

授業計画(シラバス)

科目名		VMD		指導担当者名		市川 美佳		
実務経験		デザイン会社制作業務 実務経験10年					実務経験:	有
開講時期		後期		対象学科学年		ファッション学科 2年		
授業方法		講義:		演習:◎		実習:○		実技:
時間数(通年)		後期45時間		週時間数		3時間		
学習到達目標		・商空間、売り場空間の活性化を図る、流通の場で重要な手段となる視覚表現を重視した戦略・戦術であるVMDを学ぶ。 ・幅広い知識と造形力、感性、時代情報を基に、専門知識・技術、アイデア、クリエイション、デザインで総合的な空間演出を学ぶ。						
評価方法 評価基準		・出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。						
使用教材		テキスト 学校法人 文化学園 文化出版局 発行「ディスプレイ・VP・VMD」、配布資料準備						
授業外学習の方法		・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。 ・いろいろなショップのディスプレイを見ておく。						
学期	ターム	項 目		内容・準備資料等				
授業計画 後期	1	オリエンテーション / ディスプレイ・VP・VMD概論		テキスト準備 ディスプレイ・VP・VMDとは 等				
	2	ディスプレイ・VP・VMD概論		テキスト準備 ディスプレイ素材 等				
	3	照明 / 色彩		テキスト準備 光の基礎 / 色彩の基礎 等				
	4	色彩		テキスト準備 販売促進計画とテーマカラー / 流行色 等				
	5	什器、器具、マネキン、ボディ、プロップス、オブジェ		テキスト準備 什器、器具とは 等				
	6	VMDマップ演習		テキスト / PC 準備 マップ作製				
	7	商品知識		テキスト準備 アパレルアイテムの種類 等				
	8	用語と表示記号		テキスト準備 用語 / 表示記号 等				
	9	ビジュアルプレゼンテーションテクニック 基礎		テキスト準備 用具の種類とその使い方 / 構図・構成 等				
	10	ディスプレイ演習(準備)		テキスト準備 学校内のディスプレイのイメージ / 構図・構成 等				
	11	ディスプレイ演習		テキスト準備 学校内のディスプレイ 等				
	12	前期試験		試験問題準備				
	13	試験フィードバック / VPテクニック ショーイング		テキスト準備 ショーイングとは 等				
	14	ショーイング / 基礎テクニック / 応用テクニック		テキスト準備 フォールデッド / レイダウン 等				
	15	ライフスタイルと空間構成		テキスト準備 タウンウェア / スポーツウェア / フォーマルウェア 等				
	16	メンズウェア / キッズウェア		テキスト準備 メンズボディのウェアリングポイント 等				
	17	VP基礎テクニック ピンワーク		テキスト準備 ピンワーク / 基礎テクニック 等				
	18	ピンワーク演習		テキスト / ボディ 準備 ドレープ(土台布のつけ方) 等				
	19	ピンワーク演習		テキスト / ボディ 準備 ドレープ / ギャザリング 等				
	20	ピンワーク演習		テキスト / ボディ 準備 ギャザリング / タッキング 等				
履修上の留意点								
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。								

授業計画(シラバス)

科目名	デジタルデザインⅡ		指導担当者名		飯島 勉	
実務経験	IT関連企業実務経験 7				実務経験:	有
開講時期	通年		対象学科学年		ファッション学科 2年	
授業方法	講義:○	演習:		実習:		実技:
時間数(通年)	通年60時間		週時間数	2時間		
学習到達目標	・アパレル企画に必要な Photoshopの習得。 (制作課題を通しアパレルメーカーの実践的な作業に取組み、必要な内容、技術を身につけさせる。)					
評価方法 評価基準	・出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。					
使用教材	テキスト ウィネット 発行 「Photoshopクイックマスターの教科書」					
授業外学習 の方法	・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。・授業内で行った操作の復習。					
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等			
授 業 計 画 前 期	1	基本操作編	Photoshopの基本操作			
	2	基本操作編	Photoshopの基本操作			
	3	基本操作編	選択範囲の作成			
	4	基本操作編	選択範囲の作成			
	5	基本操作編	カラーモードと色調補正			
	6	基本操作編	カラーモードと色調補正			
	7	基本操作編	ペイント			
	8	基本操作編	ペイント			
	9	基本操作編	レイヤー操作			
	10	基本操作編	レイヤー操作			
	11	基本操作編	パスとシェイプ			
	12	基本操作編	パスとシェイプ			
	13	基本操作編	テキスト			
	14	基本操作編	フィルター			
	15	基本操作編	フィルター			
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
履修上の留意点						
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。						

授業計画(シラバス)

科目名	デジタルデザインⅡ		指導担当者名	飯島 勉	
実務経験	IT関連企業実務経験 7年			実務経験:	有
開講時期	通年		対象学科学年	ファッション学科 2年	
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:	
時間数(通年)	通年60時間		週時間数	2時間	
学習到達目標	・アパレル企画に必要なphotoshopの習得。 (制作課題を通しアパレルメーカーの実践的な作業に取組み、必要な内容、技術を身につけさせる。)				
評価方法 評価基準	・出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。				
使用教材	テキスト ウィネット 発行 「Photoshopクイックマスターの教科書」				
授業外学習 の方法	・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。・授業内で行った操作の復習。				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授業計画 後期	1	基本操作編	画像の出入力 プリントとスキャナー		
	2	基本操作編	画像の出入力		
	3	基本操作編	プリントとスキャナー		
	4	コンテンツ制作編	フォトレタッチ		
	5	コンテンツ制作編	フォトレタッチ		
	6	コンテンツ制作編	ロゴデザイン		
	7	コンテンツ制作編	ロゴデザイン		
	8	コンテンツ制作編	カード&ステーションナリー		
	9	コンテンツ制作編	カード&ステーションナリー		
	10	コンテンツ制作編	フォトコラージュ		
	11	コンテンツ制作編	フォトコラージュ		
	12	コンテンツ制作編	フォトコラージュ		
	13	コンテンツ制作編	Webサイトデザイン		
	14	コンテンツ制作編	Webサイトデザイン		
	15	コンテンツ制作編	Webサイトデザイン		
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
履修上の留意点					
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。					

授業計画(シラバス)

科目名		【FDコース】デザイン画		指導担当者名		大島 成也		
実務経験		ファッションデザイナー 実務経験 33年					実務経験:	有
開講時期		通年		対象学科学年		ファッション学科 2年		
授業方法		講義:		演習:○		実習:		実技:
時間数(通年)		通年180時間		週時間数		6時間		
学習到達目標		・ファッションデザイン画の基礎から応用を習得する。 ・画材の使用方法的の復習、応用を習得する。 ・コンテスト入賞を目指す。						
評価方法 評価基準		・出席、授業態度、提出課題等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。						
使用教材		テキスト 学校法人 文化学園 文化出版局 発行「ファッションデザイン画」、水彩絵の具一式、コピック各種、配布資料 プリント準備						
授業外学習の方法		・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。 ・デザイン画をより多く書くことでバランス、構成を理解する。						
学期	ターム	項 目		内容・準備資料等				
授業計画 前期	1	ファッション画の技法・デザイン画について		テキスト準備 オリテ・ヒアリング・動機づけ				
	2	画材の説明、トレーニング		テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準備 画材の使用方法的を習得する				
	3	絵の具		テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準備 画材の使用方法的を習得する				
	4	パステル		テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準備 画材の使用方法的を習得する				
	5	人体について		テキスト、コピック各種準備 人体構成の知識習得する				
	6	デッサン、クロッキー		テキスト、コピック各種準備 人体構成の知識習得する				
	7	プロポーション		テキスト、コピック各種準備 バランス構成の知識習得する				
	8	ポーズ		テキスト、コピック各種準備 バランス構成の知識習得する				
	9	デッサン、クロッキー		テキスト、コピック各種準備 バランス構成の知識習得する				
	10	前期末試験		デザイン画作成、提出				
	11	部分練習、着装画		テキスト、コピック各種準備 画材の使用方法的を習得する				
	12	写真模写		テキスト、コピック各種準備 バランス構成の知識習得する				
	13	デッサン、クロッキー		テキスト、コピック各種準備 バランス構成の知識習得する				
	14	彩色デザイン画		テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準備 画材の使用方法的を習得する				
	15	基本着装		テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準備 コーディネート含む				
	16	基本着装		テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準備 デティール含む				
	17	デッサン、クロッキー		テキスト、コピック各種準備 着装相モデル				
	18	造形トレーニング		テキスト、コピック各種準備 着装相モデル				
	19	テーマ別創作デザイン		テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準備 イメージソースの膨らませ方				
	20	コンペ対策		テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準備 イメージソースの膨らませ方				
履修上の留意点								
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。								

授業計画(シラバス)

科目名	【FDコース】デザイン画		指導担当者名	大島 成也	
実務経験	ファッションデザイナー 実務経験 33年			実務経験:	有
開講時期	通年		対象学科学年	ファッション学科 2年	
授業方法	講義:	演習:○	実習:	実技:	
時間数(通年)	通年180時間		週時間数	6時間	
学習到達目標	・ファッションデザイン画の基礎から応用を習得する。 ・画材の使用方法的の復習、応用を習得する。 ・コンテスト入賞を目指す。				
評価方法 評価基準	・出席、授業態度、提出課題等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。				
使用教材	テキスト 学校法人 文化学園 文化出版局 発行「ファッションデザイン画」、水彩絵の具一式、コピック各種、配布資料 プリント準備				
授業外学習の方法	・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。 ・デザイン画をより多く書くことでバランス、構成を理解する。				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授業計画 後期	1	コンペ対策	テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準 イメージソースの膨らませ方		
	2	材質表現	テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準 画材の使用方法的を習得する		
	3	写真の模写	テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準 画材の使用方法的を習得する		
	4	自然をヒントに	テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準 画材の使用方法的を習得する		
	5	自然をヒントに	テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準 画材の使用方法的を習得する		
	6	抽象画の構成	テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準 画材の使用方法的を習得する		
	7	抽象画の構成	テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準 画材の使用方法的を習得する		
	8	省略画	テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準 抽象画レッスン		
	9	ディフォルメ化	テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準 抽象画レッスン		
	10	コンペ制作	テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準 テーマ別発想トレーニング		
	11	コンペ制作	テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準 テーマ別発想トレーニング		
	12	コンペ制作	テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準 テーマ別発想トレーニング		
	13	コンペ制作	テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準 テーマ別発想トレーニング		
	14	コンペ制作	テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準 テーマ別発想トレーニング		
	15	コンペ制作	テキスト、水彩絵の具一式、コピック各種準 テーマ別発想トレーニング		
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
履修上の留意点					
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。					

授業計画(シラバス)

科目名	【FDコース】上級パターンメイキング		指導担当者名	笹原 和加子	
実務経験	パターンナー 実務経験 22年			実務経験:	有
開講時期	通年		対象学科学年	ファッション学科 2年	
授業方法	講義:	演習:◎	実習:○	実技:	
時間数(通年)	通年90時間		週時間数	3時間	
学習到達目標	・被服に関する応用的な知識と製作技術を習得する。 ・企業のターゲットとする顧客層の体型や商品コンセプトに基づく基準サイズを様々な方法で展開していく力を身につける。				
評価方法 評価基準	・出席、授業態度、提出課題、試験課題提出等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。				
使用教材	テキスト 一般財団法人 日本ファッション教育振興協会 発行「パターンメイキング技術検定試験2級ガイドブック」 テキスト 一般財団法人 日本ファッション教育振興協会 発行「パターンメイキング技術検定試験2級試験問題 解答・解説集」				
授業外学習の方法	・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。・授業内で行うパターンの作図や製作方法の復習。				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授業計画 前期	1	アパレル企業のパターンメイキング	テキスト準備		
	2	人体とパターンメイキング	テキスト準備		
	3	フラットパターンメイキング(平面製図)の知識	テキスト準備		
	4	フラットパターンメイキング(平面展開)の知識	テキスト準備		
	5	ドレーピングの知識	テキスト準備		
	6	工業用パターンメイキングの知識	テキスト準備		
	7	グレーディングの知識	テキスト準備		
	8	グレーディングとアパレルCAD	テキスト準備		
	9	マーキングと書類の知識	テキスト準備		
	10	素材の知識	テキスト準備		
	11	筆記検定対策	過去問用意		
	12	筆記検定対策	過去問用意		
	13	筆記検定対策	過去問用意		
	14	筆記検定対策	過去問用意		
	15	筆記検定対策	過去問用意		
	16	筆記検定対策	過去問用意		
	17	筆記検定対策	過去問用意		
	18	筆記検定対策	過去問用意		
	19				
	20				
履修上の留意点					
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。					

授業計画(シラバス)

科目名	【FDコース】上級パターンメイキング		指導担当者名	笹原 和加子	
実務経験	パターンナー 実務経験 22年			実務経験:	有
開講時期	通年		対象学科学年	ファッション学科 2年	
授業方法	講義:	演習:◎	実習:○	実技:	
時間数(通年)	通年90時間		週時間数	3時間	
学習到達目標	・被服に関する応用的な知識と製作技術を習得する。 ・企業のターゲットとする顧客層の体型や商品コンセプトに基づく基準サイズを様々な方法で展開していく力を身につける。				
評価方法 評価基準	・出席、授業態度、提出課題、試験課題提出等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。				
使用教材	テキスト 一般財団法人 日本ファッション教育振興協会 発行「パターンメイキング技術検定試験2級ガイドブック」 テキスト 一般財団法人 日本ファッション教育振興協会 発行「パターンメイキング技術検定試験2級試験問題 解答・解説集」				
授業外学習 の方法	・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。・授業内で行うパターンの作図や製作方法の復習。				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授業計画 後期	1	素材の知識	テキスト準備		
	2	素材とファーストパターンメイキング	テキスト準備		
	3	素材とサンプルチェック	テキスト準備		
	4	素材と工業用パターン	テキスト準備		
	5	実技試験対策	過去問用意		
	6	実技試験対策	過去問用意		
	7	実技試験対策	過去問用意		
	8	実技試験対策	過去問用意		
	9	実技試験対策	過去問用意		
	10	実技試験対策	過去問用意		
	11	実技試験対策	過去問用意		
	12	実技試験対策	過去問用意		
	13	実技試験対策	過去問用意		
	14	実技試験対策	過去問用意		
	15	実技試験対策	過去問用意		
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
履修上の留意点					
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。					

授業計画(シラバス)

科目名	【ECコース】接客マナー		指導担当者名	水野 直美	
実務経験	秘書・キャビンアテンダント実務経験10年			実務経験:	有
開講時期	通年		対象学科学年	ファッション学科 2年	
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:	
時間数(通年)	通年90時間		週時間数	3時間	
学習到達目標	・相手に満足を提供する行動「接客」を学ぶ。 ・ビジネスの場でのサービス接客というものものの具体的な考え方、行動の仕方、口の利き方などを学ぶ。 ・サービス接客実務検定2級の合格を目指す。				
評価方法 評価基準	・出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。				
使用教材	テキスト 早稲田教育 出版「サービス接客検定公式テキスト2級」「サービス接客検定実問題集1-2級」				
授業外学習の方法	・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。・授業内で行った内容の復習。				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授業計画 前期	1	オリエンテーション	テキスト / プリント 準備 サービススタッフの基本を考える		
	2	一般常識	テキスト / プリント 準備 尊敬語 / 謙譲語 / 丁寧語の使い分け		
	3	一般常識	テキスト / プリント 準備 尊敬語 / 謙譲語 / 丁寧語 確認テスト / フィードバック		
	4	サービススタッフの資質 必要とされる要件	テキスト / プリント 準備 明るさと誠実さを、備えている		
	5	サービススタッフの資質 必要とされる要件	テキスト / プリント 準備 適切な判断と表現を、心得ている		
	6	サービススタッフの資質 必要とされる要件	テキスト / プリント 準備 身だしなみを心得ている		
	7	確認テスト	テキスト / 確認テスト 準備 確認テスト / フィードバック		
	8	サービススタッフの資質 従業要件	テキスト / プリント 準備 良識を持ち、素直な態度がとれる		
	9	サービススタッフの資質 従業要件	テキスト / プリント 準備 適切な行動と協調性が期待できる		
	10	サービススタッフの資質 従業要件	テキスト / プリント 準備 清潔感について、理解できる		
	11	サービススタッフの資質 従業要件	テキスト / プリント 準備 忍耐力のある行動が期待できる		
	12	確認テスト	テキスト / 確認テスト 準備 確認テスト / フィードバック		
	13	前期試験	試験問題 準備		
	14	試験フィードバック	テキスト / 試験問題 準備		
	15	専門知識 サービス知識	テキスト / プリント 準備 サービスの意義を、一応、理解できる		
	16	専門知識 サービス知識	テキスト / プリント 準備 サービスの機能を、一応、理解できる		
	17	専門知識 サービス知識	テキスト / プリント 準備 サービスの種類を知っている		
	18	専門知識 従業知識	テキスト / プリント 準備 商業用語が理解できる		
	19	専門知識 従業知識	テキスト / プリント 準備 経済用語が理解できる		
	20	確認テスト	テキスト / 確認テスト 準備 確認テスト / フィードバック		
履修上の留意点					
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。					

授業計画(シラバス)

科目名	【ECコース】接客マナー		指導担当者名	水野 直美	
実務経験	秘書・キャビンアテンダント実務経験10年			実務経験:	有
開講時期	通年		対象学科学年	ファッション学科 2年	
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:	
時間数(通年)	通年90時間		週時間数	3時間	
学習到達目標	・相手に満足を提供する行動「接客」を学ぶ。 ・ビジネスの場でのサービス接客というものの具体的な考え方、行動の仕方、口の利き方などを学ぶ。 ・サービス接客実務検定2級の合格を目指す。				
評価方法 評価基準	・出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。				
使用教材	テキスト 早稲田教育 出版「サービス接客検定公式テキスト2級」「サービス接客検定実問題集1-2級」				
授業外学習の方法	・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。・授業内で行った内容の復習。				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授業計画 後期	1	一般知識 社会常識	テキスト / プリント 準備 社会常識が理解できる		
	2	一般知識 社会常識	テキスト / プリント 準備 時事問題を、一応、理解している		
	3	確認テスト	テキスト / 確認テスト 準備 確認テスト / フィードバック		
	4	対人技能 人間関係	テキスト / プリント 準備 一般的に、人間関係が理解できる		
	5	対人技能 接客知識	テキスト / プリント 準備 対人心理が理解できる		
	6	対人技能 接客知識	テキスト / プリント 準備 一般的なマナーを心得ている		
	7	対人技能 接客知識	テキスト / プリント 準備 接客者としてのマナーを心得ている		
	8	対人技能 話し方	テキスト / プリント 準備 接客用語を知っている		
	9	対人技能 話し方	テキスト / プリント 準備 接客者としての基本的な話し方が理解できる		
	10	対人技能 話し方	テキスト / プリント 準備 提示、説明の仕方が理解できる		
	11	対人技能 服装	テキスト / プリント 準備 接客者としての適切な服装が理解できる		
	12	後期試験	試験問題 準備		
	13	試験フィードバック	テキスト / 試験問題 準備		
	14	実務技能 問題処理	テキスト / プリント 準備 問題処理について、理解できる		
	15	実務技能 環境整備	テキスト / プリント 準備 環境整備について、理解できる		
	16	実務技能 金品管理	テキスト / プリント 準備 金品管理について、理解できる		
	17	実務技能 社交業務	テキスト / プリント 準備 社交儀礼の業務について、理解できる		
	18	接客マナーのまとめ	テキスト / プリント 準備 練習問題の実施		
	19				
	20				
履修上の留意点					
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。					

授業計画(シラバス)

科目名	【ECコース】ネットショップ実務		指導担当者名		飯島 勉	
実務経験	IT関連企業実務経験 7年				実務経験:	有
開講時期	通年		対象学科学年		ファッション学科 2年	
授業方法	講義:	演習:○		実習:	実技:	
時間数(通年)	通年90時間		週時間数	3時間		
学習到達目標	・プロとして評価されるEC実務知識を習得し、ECサイト運営方法を学ぶ。					
評価方法 評価基準	・出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。					
使用教材	テキスト 日本能率協会マネジメントセンター 発行「ネットショップ検定公式テキストレベル1」 テキスト 日本能率協会マネジメントセンター 発行「ネットショップ検定公式テキストレベル2」					
授業外学習 の方法	・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。・授業内で行った内容の復習。					
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等			
授業計画 前期	1	ネットショップビジネス環境	テキスト準備 インターネットメディア・ビジネスの動向			
	2	小売業の分類と特徴	テキスト準備 小売業の分類と主な小売業態別の動向			
	3	ネットショップの位置付け	テキスト準備 電子商取引の定義・種類・規模			
	4	ネットショップの位置付け	テキスト準備 ネットショップとは/実店舗との融合			
	5	ネットショップの動向	テキスト準備 海外・日本のネットショップ市場			
	6	ネットショップの動向	テキスト準備 バリューチェーンと日本のプレーヤー			
	7	ネットショップの出店形態と特徴	テキスト準備 オンラインモール店と独自のドメイン店			
	8	ネットショップの出店形態と特徴	テキスト準備 モバイルショッピングサイト			
	9	ネットショップの実務の共通知識	テキスト準備 インターネットに関する法律の動向			
	10	ネットショップの実務の共通知識	テキスト準備 商取引に関する法規、商材に関する法規			
	11	ネットショップの実務の共通知識	テキスト準備 セキュリティについて			
	12	ネットショップ事業の準備	テキスト準備 利用デバイスについて			
	13	ネットショップ事業の準備	テキスト準備 ターゲティングと顧客ベネフィット			
	14	ネットショップ事業の準備	テキスト準備 商品開発/価格決定/決算			
	15	ネットショップ事業の準備	テキスト準備 流通/設備、機材、環境など			
	16	ネットショップの制作	テキスト準備 必要なページとサイト構造/カラーデザイン			
	17	ネットショップの制作	テキスト準備 トップページ要素			
	18	ネットショップの制作	テキスト準備 商品ページ/商品写真/商品基本情報			
	19	ネットショップの制作	テキスト準備 注文フォーム			
	20	ネットショップの制作	テキスト準備 パナーの制作			
履修上の留意点						
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。						

授業計画(シラバス)

科目名	【ECコース】ネットショップ実務		指導担当者名	飯島 勉	
実務経験	IT関連企業実務経験 7年			実務経験:	有
開講時期	通年		対象学科学年	ファッション学科 2年	
授業方法	講義:◎	演習:	実習:○	実技:	
時間数(通年)	通年90時間		週時間数	3時間	
学習到達目標	・プロとして評価されるEC実務知識を習得し、ECサイト運営方法を学ぶ。				
評価方法 評価基準	・出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。				
使用教材	テキスト 日本能率協会マネジメントセンター 発行「ネットショップ検定公式テキストレベル1」 テキスト 日本能率協会マネジメントセンター 発行「ネットショップ検定公式テキストレベル2」				
授業外学習 の方法	・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。・授業内で行った内容の復習。				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授業計画 後期	1	ネットショップの制作	テキスト準備 ユーザビリティ、アクセシビリティ		
	2	ネットショップのプロモーション	テキスト準備 職業人の活動と自己啓発・自己管理 等		
	3	ネットショップのプロモーション	テキスト準備 マネジメント基礎知識、IT基礎知識 等		
	4	ネットショップの運用	テキスト準備 ルーティン業務		
	5	ネットショップの運用	テキスト準備 プロモーション・マネジメント業務		
	6	社会人としての基礎知識	テキスト準備 ビジネスマナー		
	7	社会人としての基礎知識	テキスト準備 情報収集/調査/会計		
	8	運営業務	テキスト準備 受注、出荷指示		
	9	運営業務	テキスト準備 クレーム対応、商品管理		
	10	Web制作業務	テキスト準備 トップページ/商品ページ/その他ページ		
	11	Web制作業務	テキスト準備 商品写真の企画と撮影技法		
	12	Web制作業務	テキスト準備 カラーデザイン		
	13	Web制作業務	テキスト準備 キャッチコピー・文章		
	14	Web制作業務	テキスト準備 メールマガジン		
	15	プロモーション業務	テキスト準備 新規客獲得		
	16	プロモーション業務	テキスト準備 リピーター購入		
	17				
	18				
	19				
	20				
履修上の留意点					
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。					

授業計画(シラバス)

科目名	【ECコース】ファッション販売		指導担当者名	遠藤 建一	
実務経験	アパレルメーカー 実務経験 7年			実務経験:	有
開講時期	前期		対象学科学年	ファッション学科 2年	
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:	
時間数(通年)	前期90時間		週時間数	3時間	
学習到達目標	・ファッションビジネスを展開するために必要な、抽象性と物理性の両方の知識と技術を学ぶ。 ・ファッション販売能力検定3級取得。				
評価方法 評価基準	・出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。				
使用教材	テキスト 一般財団法人 日本ファッション教育振興協会 発行「ファッション販売」、「ファッション販売3 3級公式問題集」				
授業外学習 の方法	・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。・授業内で行った内容の復習。				
学期	ターム	項 目	内容・準備資料等		
授業計画 前期	1	1 ファッション販売知識	テキスト準備 ファッションとは/ファッション販売について		
	2	1 ファッション販売知識	テキスト準備 ファッション小売業の業種・業態		
	3	1 ファッション販売知識	テキスト準備 お客様にとってみせとは/お客様について		
	4	1 ファッション販売知識	テキスト準備 ライフスタイルショップ		
	5	1 ファッション販売知識	テキスト準備 販売スタッフの基本マナー		
	6	2 ファッション販売技術	テキスト準備 購買心理の理解/買い物の仕方		
	7	2 ファッション販売技術	テキスト準備 接客の基本とコンサルティングセールス		
	8	2 ファッション販売技術	テキスト準備 包装/贈答のマナー		
	9	3 商品知識	テキスト準備 アイテムの知識/インナーウェアの知識		
	10	3 商品知識	テキスト準備 服飾雑貨/素材の種類と加工/シルエットの知識		
	11	3 商品知識	テキスト準備 衣服の構成とディテール/柄の種類と特徴		
	12	3 商品知識	テキスト準備 色彩と配色の知識		
	13	3 商品知識	テキスト準備 サイズの知識		
	14	3 商品知識	テキスト準備 商品の品質管理/副資材の種類		
	15	3 商品知識	テキスト準備 店舗環境づくり		
	16	3 商品知識	テキスト準備 マーチャンダイズプレゼンテーション/マーケティングの基礎知識		
	17	3 商品知識	テキスト準備 ファッション店のマーケティング/情報収集の目的と必要性		
	18	3 商品知識	テキスト準備 販売業務と付帯業務		
	19	3 商品知識	テキスト準備 備品管理/商品管理/店舗係数知識/キャリアプラン		
	20	期末テスト	期末テスト		
履修上の留意点					
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。					

授業計画(シラバス)

科目名	【ECコース】ファッション販売		指導担当者名		遠藤 建一	
実務経験	アパレルメーカー 実務経験 7年				実務経験:	有
開講時期	通年		対象学科学年		ファッション学科 2年	
授業方法	講義:○	演習:		実習:	実技:	
時間数	90時間		週時間数	3時間		
学習到達目標	・ファッションビジネスを展開するために必要な、抽象性と物理性の両方の知識と技術を学ぶ。 ・ファッション販売能力検定3級取得。					
評価方法 評価基準	・出席、授業態度、提出課題、試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する。					
使用教材	テキスト 一般財団法人 日本ファッション教育振興協会 発行「ファッション販売」、「ファッション販売3 3級公式問題集」					
授業外学習 の方法	・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。・授業内で行った内容の復習。					
学期	ターム	項 目		内容・準備資料等		
授業計画 後期	1	ECサイト		ECサイトの運営方法、業務内容		
	2	インフルエンサーについて		SNSを利用したPR		
	3	リーダーシップの作り方		チーム作り		
	4	チームビルディング		行動目標の共有		
	5	ミーティングのやり方		報告・連絡・相談、モチベーションを上げる		
	6	ディベロッパーとのコミュニケーション		営業担当にサポートしてもらう		
	7	データ管理と改善力		売上管理、在庫管理		
	8	クレーム対応		クレームの電話対応、商品交換		
	9	骨格タイプの見分け方		似合う服の提案		
	10	コーディネート接客		ニーズを踏まえた提案		
	11	試着対応		試着の際の接客		
	12	メール対応		メールでのやり取り		
	13	電話対応		電話での対応方法		
	14	DM		DMの内容、メッセージの書き方		
	15	これからのファッション業界について		市場の流れ、デジタル化など		
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
履修上の留意点						
出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。						